



キャンパス / 千葉県習志野市、東京都墨田区 学生数 / 10,462人  
 建学の精神 / 世界文化に技術で貢献する  
 学部 / 工、創造工、先進工、情報変革科、未来変革科  
 大学院 / 工学、創造工学、先進工学、情報科学、社会システム科学  
 THE世界大学ランキング2025 / 1501+位、同日本大学ランキング2023 / 151-200位

## 主な新設・改組の流れ

年度	1950年	2001年	2016年	2024年	2025年		
変化		3学部体制へ	5学部体制へ	情報科学部・社会システム科学部を改組	工学部に宇宙・半導体工学科を設置		
学部・学科	工学部第一部	機械工学科	工学部	機械工学科(140)	工学部	機械工学科(140)	
		金属工学科		機械電子創成工学科(110)		機械電子創成工学科(110)	
		工業経営学科		先端材料工学科(110)		先端材料工学科(110)	
		機械工学科		電気電子工学科(140)		電気電子工学科(140)	
	工学部第二部	金属工学科	工学部	情報通信システム工学科(110)	工学部	情報通信システム工学科(110)	
		工業経営学科		応用化学科(110)		応用化学科(110)	
				建築学科(140)		建築学科(140)	
				都市環境工学科(110)		都市環境工学科(110)	
	学部・学科	工学部	精密機械工学科	創造工学部	デザイン科学科(120)	創造工学部	デザイン科学科(120)
			工業デザイン学科		未来ロボティクス学科(120)		未来ロボティクス学科(120)
					生命科学科(110)		生命科学科(110)
					知能メディア工学科(110)		知能メディア工学科(110)
情報科学部		情報工学科	先進工学部	情報工学科(140)	先進工学部	情報工学科(120)	
		情報ネットワーク学科		認知情報科学科(120)		認知情報科学科(120)	
		経営情報科学科		高度応用情報科学科(120)		高度応用情報科学科(120)	
		プロジェクトマネジメント学科		デジタル変革科学科(100)		デジタル変革科学科(100)	
社会システム科学部			情報科学部	経営情報科学科(110)	情報変革科学部	経営情報科学科(110)	
				情報ネットワーク学科(140)		情報ネットワーク学科(140)	
				プロジェクトマネジメント学科(110)		プロジェクトマネジメント学科(110)	
				金融・経営リスク科学科(60)		金融・経営リスク科学科(60)	
学部・学科		情報科学部	経営情報科学科(110)	情報変革科学部	経営情報科学科(110)		
			情報ネットワーク学科(140)		情報ネットワーク学科(140)		
			プロジェクトマネジメント学科(110)		プロジェクトマネジメント学科(110)		
			金融・経営リスク科学科(60)		金融・経営リスク科学科(60)		
学部・学科		情報科学部	経営情報科学科(110)	情報変革科学部	経営情報科学科(110)		
			情報ネットワーク学科(140)		情報ネットワーク学科(140)		
			プロジェクトマネジメント学科(110)		プロジェクトマネジメント学科(110)		
			金融・経営リスク科学科(60)		金融・経営リスク科学科(60)		

\* ( )内は入学定員

## 注目 成長産業のニーズにいち早く対応する 2025年度新設の宇宙・半導体工学科

半導体市場はこの数年で急成長し、2030年には100兆円規模に到達する見込みだ。一方で、国内の半導体関連人材は直近20年で約30%も減少。人材育成が急務だが、コースはあっても、学科相当で人材を育成している大学はこれまで熊本大学ぐらいしかなかった。

宇宙・半導体工学科では1・2年次で機械工学と電子工学、宇宙工学、半導体工学の基礎を十分に身に付け、3年次ではものづくりの実践力を養い、4年次からは研究室で半導体デバイスやロケットの設計・開発に取り組む。加えて、アリゾナ州立大学との提携により、国際的に活躍できるエンジニアの育成にも取り組む意向だ。

日下部氏は、高校を回った感触として、特に「宇宙」が引きになると感じたそう。「宇宙」は高校生にも、高校教員にも、興味を持ってもらいやすいキーワード。半導体もこれからさらにニーズが加速することが予想されるため、次第に認知が広がると期待できる(日下部氏)。

## 宇宙・半導体工学科の新聞広告



### アリゾナ州立大学との提携の概要

- ・日本にいながらASUの学位を取得できるダブルディグリープログラムを提供。
- ・ASUのコンテンツとカリキュラムを活用した、多様な教育機会を提供。
- ・ASUのネットワークを活用した国際的な人材育成の促進と、イングリッシュセンターの設置。

# 情報、宇宙、半導体、DX人材… 社会ニーズ起点の学部学科に再編

CASE STUDY

## 千葉工業大学

2024年度に2学部を新設し、2025年度にもさらに1学科を新設する千葉工業大学。矢継ぎ早の改組・新設の背景にあるものは、何か。



入試広報部長

## 日下部 聡

くさかべさとし ●民間企業を経て、2009年千葉工業大学に入職。以来、一貫して入試広報を担当し、2013年より現職。自学だけでなく、工業系大学や理工系学部全体の発展を見据えた環境づくりにも力を注ぐ。

### 人材不足は喫緊の課題 半年の準備期間で届出

本学が2025年度に工学部に設置する宇宙・半導体工学科は、2024年1月に決定後、約半年で届け出たスピード新設です。本来、数年はかかる新設をこれほどまでに急いだのは、人材不足に悩む企業から切実な声が寄せられたから。急成長する宇宙分野に加え、特に深刻だったのが、半導体人材です。国内で専門的に学べる大学はごくわずかです。この問題を重く見た理事長より、「今すぐ、最優先で取り組みよう」という方針が全学に出され、実質3か月で、教育課程や教員組織の編成をやり遂げました。これが可能だったのは、法人主導の運営と、約10年かけて築いてきた教職協働体制に加え、研究費や研究センターを充実させるなど、全学一致の大学づく

りを続けてきたことで、教員が改革にも協力的であったからです。広報については時間が限られていたため、高校向けの「学生確保の見通しに関するニーズ調査」を広報活動に取り入れられました。今、高校は、多くの大学から依頼されるこの調査への対応に苦慮しています。そこでわれわれは、直接高校に足を運び、概要をまとめたリーフレットを元に、社会のニーズと新学科との関係性や、卒業後の想定進路を丁寧に説明しながら、ニーズを探りました。指定校が中心ですが、九州や北海道など、宇宙・半導体産業がホットなエリアの高校も新規開拓しました。

学科情報が整い始めた6月には、リーフレットの内容を詳細なものに作り直し、高校向け説明会や、高校訪問に活用。高校には募集要項発表の時期を伝えるなど、コミュニケーションを密に取り続けました。社会に大学の動きをアピールするために、並行して、新聞広告なども打ちました。

新設の入試については、興味を持った受験生が受けやすいかどうか、今後、より一層重要になってくることでしょう。新学科の入試も、高校生や高校のニーズを熟知する入試広報職員と入試委員の教員が協働で設計しています。

### 自学のあり方を 社会の側から問い続ける

本学はかつて、2001年と2016年の二度にわたって工学部を再編しています。理由は2つあります。1つ目は学部が巨大化し、目の届かない学生の意欲が低下したため。2つ目は、細分化した社会のニーズにこたえるため。近年の本学の新設・改組は、特に後者を意識しています。2024年度に新設した情報変革科学部と未来変革科学部は、需要を増すデータサイエンスやDXのエキスパートの育成をめざして新設しています。情報変革科学部は最先端の情報工学をハードとソフトの両面から、未来変革科学部は情報学と経営工学を学ぶ学部です。

社会は常に変化しています。大学の中ではなく、外に出て、自学のあり方を考えることこそが、本当に必要とされる学部づくりにつながるのではないのでしょうか。本学は理事長・学長が率先して外とのつながりをつくっています。アリゾナ州立大学との提携実現もその一つです。この、全米で「最も革新的な」大学の企業並みのスピードや革新性を取り込み、次のステップへ移るチャンスとしています。

\* U.S. News & World Reportにて10年連続、全米で「最も革新的な学校」に選ばれた。THE世界大学ランキング2025は201-250位

取材・文 / 鈴木康介 撮影 / 亀井宏昭